

アルジェリア民主人民共和国で発生した地震災害における
国際消防救助隊について（第4報）

総務省消防庁救急救助課
平成 15 年 5 月 26 日 11 時 15 分

1 地震の概要

- (1) 日時：平成 15 年 5 月 22 日 3 時 45 分（現地時間：5 月 21 日 19 時 45 分）
- (2) 種別：地震、規模：M6.7（米国地質調査所による）
- (3) 震央地名：アルジェリア民主人民共和国首都アルジェ東部約 60 km の都市テニア付近

2 消防庁の対応等

- 22 日 14:30 アルジェリア民主人民共和国より救助チームの派遣要請があり、外務省において国際緊急援助隊の派遣決定。
消防庁長官が国際消防救助隊（IRT）の派遣決定。
- 22 日 21:55 国際消防救助隊（先遣隊） 成田出発
現地時間 5 月 23 日 10 時 20 分、アルジェ着（第 1 陣）
現地時間 5 月 23 日 14 時 30 分、アルジェ着（第 2 陣）
- 23 日 11:10 国際緊急援助隊（後発隊） 成田出発
現地時間 5 月 23 日 21 時 15 分、アルジェ着予定

3 国際緊急援助隊構成

国際緊急援助隊総派遣人数	61名		
救助チーム	先遣隊（5月22日）	後発隊（5月23日）	合計
救助チーム計	18名	43名	61名
国際消防救助隊(IRT)	4名	13名	17名
総務省消防庁	1名	0名	1名
東京消防庁	3名	5名	8名
京都市消防局	-	2名	2名
仙台市消防局	-	2名	2名
川口市消防本部	-	2名	2名
朝霞地区一部事務組合	-	2名	2名
国際協力事業団など	14名	30名	44名

IRT 総括官：消防庁救急救助課国際協力官 中本 敦也（なかもとあつや）
IRT 隊長：東京消防庁警防部訓練課長 川島 一郎（かわしまいちろう）

4 活動状況

- 23日 10:20 (日本時間 23日 18:20) 頃
・先遣隊の第1陣の4名(川島 I R T 隊長他)が、アルジェに到着。
- 23日 14:30 (日本時間 23日 22:30) 頃
・先遣隊の第2陣の14名が、アルジェに到着。
・日本チームの救助活動地域がテーニアとなる。
- 23日 19:20 (日本時間 24日 03:20) 頃
・先遣隊第1陣に先遣隊第2陣が合流し、夜を徹して捜索救助活動を展開。

日本チームが発見した生存者(21才、男性)を現地時間 23日 23:59 (日本時間 24日 07:59) 頃、トルコチームと共同で倒壊したホテルから救出完了。なお、意識は、はっきりしており救急車に収容し搬送。

なお、トルコチームには消防庁と JICA が実施している消防集団研修により、大阪市消防局で救助技術を学んだ隊員が1名おり、日本隊と効果的な連携体制をとりながら作業を実施したとのこと。

- 24日 04:10 (日本時間 24日 12:10) 頃後発隊と合流。
- 24日 08:00 (日本時間 24日 16:00) 頃
・アルジェリア軍より、日本チームに対して約90名程度の救出活動応援の申し入れがあり、23日と同じ場所において合同で活動開始。ア軍は日本チームの指揮に基づき活動。
・現場から2名救出(死亡)。
- 25日 10:10 頃 (日本時間 24日 18:10)
・24日と同じ場所において捜索活動を再開。
・現地対策本部等と今後の活動について協議を行ったが、現在活動している現場の他には活動の要請がなかった。本協議結果を受け、国際緊急援助隊指揮本部内で協議を行い、現在行われている救出作業が完了次第、全救助作業を終了し撤収することとした。
- 25日 20:10 (日本時間 25日 04:10)
・最後の要救助者を救出(25日は計3名救出、いずれも死亡)
・活動現場であるホテルで生き埋めになったとされる6名すべてを救出、救助活動を終了する。

活動現場：「ル・ロータス・ホテル」

アルジェから約50km 東のブーメルデス県ゼンモリ市の海岸沿い

救助人員：6名(生存者1名、死亡者5名)

生存者は、上記ホテルの従業員ラドワン・ナレムワジさん(21歳)